

## 令和2年度北海道科学技術賞受賞者功績概要

氏名	帰山 雅秀（70歳）
所属・職名	北海道大学・名誉教授
<p>&lt;功績名&gt; 「サケ類の生態系アプローチ型持続可能な資源保全管理を目指した研究」</p> <p>&lt;功績の内容&gt; 遡河回遊を行うサケ類は河川で生まれ、海洋で成長し、再び生まれた川に帰って産卵するという特徴的な生活史を有するため、その資源は地球温暖化等の海洋環境変化や人間の産業活動の影響を強く受けている。 氏は、これまでサケ類の生活史や個体群動態、種間相互作用等の生態学を基礎とした研究・教育を進め、特に、サケ（シロザケ）の鱗分析による年齢・成長履歴と個体群動態の解析から、回帰個体の小型化や高齢化が個体数増加に起因する密度効果に依ることを初めて実証し、環境収容力の概念の有効性を示した。また、長期的な気候変動がサケ類の環境収容力と海洋生態系に及ぼす影響や今後の地球温暖化がサケの海洋分布や回遊に与える影響を明らかにしている。知床世界自然遺産地域では、サケ類の産卵遡上が海由来の物質を海から森に運ぶ物質輸送のメカニズムを明らかにしている。さらに、野生魚（自然産卵魚）を考慮したサケ類の資源保全の重要性を科学的データに基づき、いち早く提唱している。これらの成果は、いずれも国際的に高く評価される独創的、先駆的なものであり、サケ類の資源管理のみならず海洋生態系の保全にも貢献している。</p>	

注) 年齢は令和2年（2020年）4月1日現在